

第3 計画の進行管理と見直し

県民ニーズや社会・経済・財政の様々な事情の変化に適切に対応し、計画の円滑な推進を図るためには、計画の進捗状況を把握し、適切な進行管理を行う必要があります。

このため、

- 点検評価サイクル（いわゆる「P D C Aサイクル」）による政策評価の手法を活用し、事業の「必要性」（県民ニーズの状況、廃止・休止した場合の影響）や「目的妥当性」（県が取り組む妥当性があるかどうか）等の観点から見直しを行うとともに、
- 計画策定以降の社会経済情勢等の変化や新たな県民ニーズに即応するため、新たな取組の検討を進めます。

P D C Aサイクル

具体的な目標を定め（**P**lan：企画）

それに沿った活動を行い（**D**o：実施）

その結果を目標と照らし合わせて点検し（**C**heck：評価・検証）

次年度の新たな企画立案に反映していく（**A**ction：改革・改善）

併せて、第三者機関である「県政運営評価戦略会議」等において、計画に位置づけられた施策や数値目標の達成状況などについて、「より県民目線に立った客観的な評価」を行っていただきながら、毎年度、計画の改善見直しを行います。